

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和3年6月2日掲載

2年1組 鬼海 羽那

「見えない努力 重要さ学んだ」

私が5月の体育大会を通して学んだことが2つあります。1つ目は見えない努力の重要さです。私は自分の好きなことを生かせるシンボル看板制作で、少しでも団に貢献できるように頑張りました。制作中は初めてであることもあり、自分のミスで全体が台無しになってしまうのではないかと思ったこともあり、シンボル看板が完成し、多くの人が「すごい」と言ってくれているのを見てとても嬉しくなりました。人から見られない活動によっても多くの人たちが喜んでくれることを改めて知ることができました。

2つ目は、限界を決めないことです。今年の体育大会テーマ「～限界のその先へ～」にちなんで、個人目標を「限界を決めない」としました。学級対抗リレーや団対抗リレーの練習の時は、いつも下位になることが多かったですが、練習であろうと一度も手を抜くことなく取り組みました。本番も、限界を考えず走り抜きました。結果は、練習時よりも順位が上がりチーム全体で大きな達成感を味わうことができました。これからも何事にも挑戦し、苦しいことから楽しみを見つけて学校生活を送りたいです。